



FC RYUKYU
OKINAWA



ちむぐる プロジェクト

CHIMU
GUKURU
PROJECT



ちむぐるくるプロジェクトとは

FCRVUKVU
OKINAWA



ホームタウン沖縄県の社会問題に対して、パートナー企業や行政、ファン・サポーター、地域住民の協力を得ながら課題解決に向けて取り組む活動として「ちむぐるくるプロジェクト」が始動しました。

【体験格差/経済格差】

相対的貧困率
全国ワースト1位



【体験格差/経済格差】

ひとり親世帯出現率
全国ワースト1位



【運動習慣/運動能力】

全国体力テスト
(県内小学生女子)
過去最低(2024年度)



【街灯犯罪/防犯】

県内 刑法犯認知件数
(窃盗・ひったくり・車上荒らし等)
過去最多(2024年)



【交通安全】

飲酒運転事故率
全国ワースト1位



【海洋保全】

海への愛着 意識調査
全国1位



ちむぐるくるプロジェクトとは

FC RYUKYU
OKINAWA



ちむぐるくる
プロジェクト



ゆいゆいSMILEプロジェクト

FC琉球やFC琉球さくらの選手、スタッフがホームタウンの小学生、中学生、高校生を対象に、将来の夢ややりたい職業を考えるきっかけとなる講話を実施したり、体育の授業への参加、あいさつ運動などの学校訪問活動を行っております。



キッズフリーパス

小学生以下の子ども達は、ホームゲーム全試合を無料で観戦可能。ホームタウンの子ども達が地元のプロサッカー選手や試合に触れることで夢や感動を得られる機会を提供することに賛同いただく企業のご支援で運用しております。



離島サッカー教室

離島に住む子どもたちにサッカーの楽しさを知ってもらうとともに、プロサッカー選手と触れ合い、身近に感じてもらう機会を提供し、体験の格差を少しでも埋めることで子どもたちが夢や目標を持つきっかけをつくることを目指しています。



ゆいまーるパトロール

夜間の防犯活動や地域の安全意識の向上を図るとともに、健康増進に寄与するため、クラブとファン・サポーター、地域住民の方々为主体となって、ランニング(ジョギング)をしながら行う防犯パトロール活動です。



交通安全活動

子どもたちの交通安全に対する意識の向上や、正しい知識を身につけることでの事故防止等を目的として交通安全活動を実施。警察や交通安全協会とともに、地域の皆さまの安全を守るための活動に力を注いでまいります。



海の日パトロール

FC琉球では、沖縄の美しい海や自然を守る活動に力を注いでおります。ジンベーニョが海水浴客に海の中に潜む危険生物を紹介、防犯ステッカーの配布を通して海の安全意識向上に努めてまいります。3

活動レポート：2025/6/16～8/31

FC RYUKYU
OKINAWA



【体験格差/経済格差】夢講和

沖縄の子どもたちにスポーツの楽しさを伝え、夢を持つことの大切さを感じてもらうことを目的として、県内の小学校にて「夢講和」を実施しました。

FC琉球OBの上原慎也クラブコミュニケーターと、FC琉球さくらの伊藤美菜子選手が講師として参加。生徒たちに向けて、自身のこれまでの経験や、夢に向かって努力し続けることの大切さについて語りました。

また、夢を持つことが人生に希望や力を与えてくれるというメッセージも届けられ、子どもたち一人ひとりが未来に向けて前向きな気持ちを育む機会となりました。

【体験格差/経済格差】探求授業

FC琉球は7月から11月にかけて、沖縄県立浦添商業高校と美里高校の生徒の皆さんとミッション型探求授業を実施します。「FC琉球 ホームゲーム 高校生・大学生 ○○名集客チャレンジ！！～高校生・大学生をスタジアムに集める企画をやってみよう！」をテーマに、自由な発想で意見を出し合い企画を立案。全12回の授業を通して、フロントスタッフとともに学びながら学生を集客する企画を準備し、FC琉球のホームゲーム（沖縄県総合運動公園陸上競技場）にて、実際に企画運営に挑戦する予定です。

初回では、集客やホームタウン活動を担当するフロントスタッフが学校へ訪問。クラブの現状を説明し、生徒の皆さんにグループワークを通してアイデアを出していただきました。



活動レポート：2025/6/16～8/31

FC RVUKU
OKINAWA



【体験格差/経済格差】地域交流

アワセ第一デイサービス様にて行われた地域交流イベントに、ジンバーニョとFC琉球さくらの橋本選手が参加しました。

利用者の皆様や地域の子どもたちと一緒にPK対決を楽しんだほか、記念撮影なども行い、笑顔あふれる触れ合いの時間となりました。ジンバーニョは子どもたちのシュートを止めたり、橋本選手は、利用者の方々と会話を交わしたりと、終始和やかな雰囲気の中で交流を深めました。イベントを通じて、スポーツの力や地域とのつながりの大切さを感じられる一日となりました。

【体験格差/経済格差】離島サッカー教室

8月3日（日）、渡嘉敷島村立渡嘉敷小・中学校にて、渡嘉敷島在住の子どもたちを対象に、浅川隼人選手と上原慎也クラブコミュニケーターによるサッカー教室を実施しました。幼稚園児から中学生まで、幅広い年齢層の子どもたちが参加し、ボール遊びやミニゲームを通して交流しました。

また、ジンバーニョとの触れ合いや、浅川選手にサインを求める子どもたちの楽しそうな様子も見られました。サッカークラブがない渡嘉敷島での開催であり参加者のほとんどはサッカー初心者でしたが、子どもたちが笑顔で楽しむ姿から、サッカーはプレーする人、見る人、支える人、すべてを笑顔にできるスポーツであることを改めて感じられる教室となりました。



活動レポート：2025/6/16～8/31

FCRVUKVU
OKINAWA



【体験格差/経済格差】日本一のスタジアム花火招待

さまざまな境遇にある沖縄県内の子どもたちに最高の夏の思い出を届けようと、8月23日(土) 讃岐戦の試合後に「#日本一のスタジアム花火」を打ち上げるイベントを開催。

沖縄が抱える「体験格差」を是正すべく、ひとり親家庭、離島在住や在沖外国人など、環境や背景の異なる子どもたち約1000人をご招待しました。離島からは計60名のお子様と保護者の方をお招きし、試合を終えたばかりの浅川選手と子どもたちが、まだ熱気の残るピッチで一緒に花火を楽しみました。また、県内のひとり親家庭の支援に取り組む公益社団法人 沖縄県母子寡婦福祉連合会を通じて、当日は60組120名のひとり親世帯の親子の方々にご来場いただきました。

【啓発/環境保全】特定外来生物ツルヒヨドリ駆除

8月20日(水)に、「夏休み！ジンベーニョとツルヒヨドリ駆除大作戦！」を那覇市の奥武山公園内にて行いました。当日は、上原慎也クラブコミュニケーターをはじめ、ボランティアとして集まってくださった地域の方々と共に、特定外来生物の「ツルヒヨドリ」の駆除作業を実施。

ツルヒヨドリは、南北アメリカの熱帯地域を原産地とするつる性の植物で、日本では1984年にうるま市で発見されました。つるで絡み付きながら猛烈な勢いで広がっていき、在来生態系だけでなく、農作物にも大きな被害を及ぼす可能性があるため、発見したらすぐに防除することが必要とされています。本活動は、単なる除去作業にとどまらず、外来種問題への理解促進や地域の方々との協力関係を深める貴重な機会となりました。



【啓発/防犯】防犯パトロール

6月26日（木）、奥武山公園周辺のランニングコースにて、パトラン沖縄Groupと沖縄県那覇警察署のご協力のもと街を走ってパトロール「ゆいまーるパトロール」プロジェクトを実施しました。

当日は、上原慎也クラブコミュニケーターも参加し、地域住民の皆さまとともにランニングをしながら、防犯パトロールおよびゴミ拾い活動に取り組み地域の安心・安全なまちづくりを目指しました。

地域の見守りと環境美化を同時に行う本プロジェクトは日常の中で楽しく防犯意識を高めることを目的としており活動の締めくくりには、感謝の気持ちを込めて、ジンバーニョ特製の「防犯シール」を参加者全員にプレゼントしました。



【啓発/海洋保全】海の日パトロール

7月21日（月）、沖縄県ライフセービング協会と連携し、真栄田岬にて海難事故防止を目的としたパトロール活動を実施しました。

当日は、ジンバーニョも参加し、ライフセーバーの皆さんとともに、海水浴を楽しみに訪れた方々に対して、海の中に潜む危険な生物について紹介しました。これにより、海で起こりうる事故を未然に防ぐための意識を高めるとともに、海に生息するさまざまな生き物に対する正しい知識を身につけていただく機会となりました。

また、海水浴客の皆さんには、海の安全についての意識をさらに高めていただくため、ジンバーニョ特製パトロールシールをプレゼントしました。





FCRVUKVU
OKINAWA



ちむぐるくる
プロジェクト

CHIMU
GUKURU
PROJECT

【実施回数(1/1~8/31)】



計106回

【対象人数(1/1~8/31)】



延べ 22,096人



ちむぐるくるプロジェクト パートナー

FC RYUKYU
OKINAWA

